

アンジェル (元キリスト教徒 アメリカ合 国)

5.0

明:崩 した家族と社会の狭 で、ムスリムの友人 からの助けを 出したある女性の 。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: アンジェル

日 05 Dec 2009

集日 05 Dec 2009

全てのムスリムにはイスラ ムの道においてそれぞれの物 がありますが、私にとってその一つ一つが 味深いものです。神は本当にかれがお望みの者のみを かけます。そして私はその一人として ばれたことを本当に祝福されていると感じます。これが私の物 です。

私は常に唯一神を信じていました。困 だらけの私の全人生において、子供であった でさえも神に助けを求めていました。私は台所で が泣いたり叫んだりしている中、膝をつき、泣いていたことを えています。それが まるようと神に祈っていたのです。しかしその一方で宗教は全く意味のないことでした。それは成 するにつれ、もっと意味のないものとなっていきました。というのも宗教人たちは自分たちが神との仲介人だと考えていたからです。

私はイエス[神の称 が彼にありますように]についても、同じように感じていました。この人物がいかに私たち全ての罪を赦せるのか? なぜ私たちは彼のおかげで罪を犯す 利があるのか? 私は全ての の翻 、つまり本当の神の言 ではなく何度も翻 され き直されたものを信仰することを拒否しました。そして15 の には神を探すということを めてしまいました。

私はアメリカの平均的な家族で育ちました。私の知る限り、皆同じような を抱えながら成 していたと思います。私の父は き者の 者でアルコール中毒でした。彼の症状が 化するにつれ、その倒 も 化しました。性的虐待、体 、そして恐怖が私の子供 代に を残し、それらは生涯に渡り影 を残し けました。私が6年生の 父は他界しましたが、その ままでに私の は 婚していました。私は8人兄弟の末っ子でした。母が仕事に出て私たちを っており、私はもっぱら家に一人でいました。

私は社会からはじかれ、部屋に入ってくる人々を、怖がらせるような子供でした。 い服を着、暗い化 をするようになり、ゴシック音 や死をもてはやすような音 を くようになりました。死は思春期の を解 し、また余り怖くないもののように思えました。友 がいてもいつも一人のように感じており、 草やアルコール、セックスや 物など、正 を失わせてくれるあらゆるものでその を埋めようとしてしました。私は少なくとも15回の自 を りました。しかし何をしても自分の中にある痛みが和らぐことはありませんでした。

私は大学の 息子を妊娠しました。私は息子の健康を非常に 遣い、彼を亡くすことなど造だに出来ませんでした。

私は息子のために休みなく きました。全ての痛みと怒りを心に押し めながら、私の生活はいくらか わりました。この までは私は も信用出来なくなっていました。それから3年 、私は再びデ トするようになりました。私は婚 しましたが、心の中ではそれ以上のものを求めていました。そしてこれまでの 去の全ての と同 、私の世界は崩れ始めました。私は25 で娘を妊娠しましたが、婚 者との は彼の度重なる 切と身体的暴力により了することになりました。一体次には何がやってくるのか全く予想がつきませんでした。

この 私はムスリムであるパキスタン男性と仕事をしていました。私はニュ スを ることもなく、周りで何が起きているかさえ にしていませんでした。イスラ ムは私にとって、何ら他の宗教と いはありませんでした。この 私は何人かのムスリム男性と友 になりましたが、私は何か 的な いに 付き始めていました。彼らは明白なモラルを持っていました。 酒も 物もやらないのはいうまでもなく、神への信仰として 日5回の礼 を行っていました。私たちの世代にしてみれば、このようなことは私たちの祖父たちが ってい

たような古い学校のモラルでした。

者の皆さんは私が娘を出した、彼らの一人がり物をもってねてきたの私のきを想像出来ないでしょう。娘を抱き、しかける彼をて、私はただいていました。男性がこのように赤ん坊に接するのをたことがなかったのです。その切は4か月以上き、それどころかすばかりでした。私は、私たちに示されたこのを表することが出来ません。彼らの宗教への味は少しずつしていきました。どんな宗教が人々にこのようなを教えむことが出来たのか、味をひかれたのです。

7人の人と家を共同で借りていた、ある夜私はルムメトのパソコンを借りようと意しました。私は友人に直接することでそのを害しはしまいかと恐れていて、それでインターネットをいたのです。最初にいたのは<http://www.islam-brief-guide.org> .でした。真理をつけるまで、随分がかかりました。まるで私の体からい布が持ち上げられたようでした。私がこれまでに神をこれほど近くに感じたことは一度もたりともありませんでした。24 以内に私はシャハダ（信仰告白）をしました。

今日まで私は自分ののほとんどを研究にやしています。人生で初めて私の怒りと痛みは止みました。私は真に神への畏れとを感じました。神は私の中にある痛みを、かれの光と真に置きえられました。改宗してからというもの、神は本当に私を祝福しておられます。神は私に禁酒禁するさを与えられ、またおよそ2年物も使用していません。また素晴らしいムスリム男性と婚もしました。彼は私の子供を私たちの子供としてくれました。そして今や私は、いつも望んでいた何か家族を持っているのです[神にすべての称があれ]。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/53>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。